



サーファーもお年寄りも みんな元気かい？

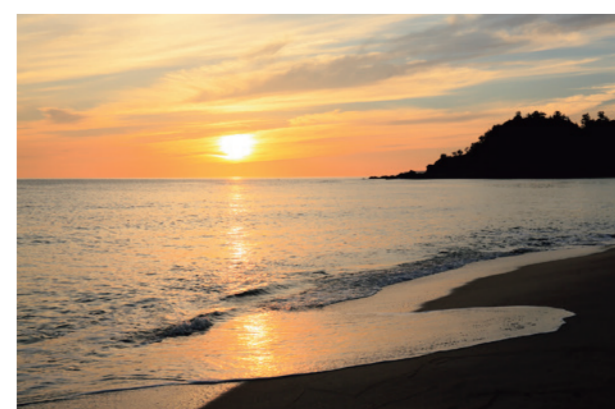
泊生まれ・泊育ちの戸羽由美子とばさんは、結婚してほどなく介護福祉士としての仕事に就き、15年のキャリアを積んだ。「介護の仕事は大好きでした」
認知症のお年寄りに接し、寄り添って尽くせば、「だんだん心を開いてくださり、落ち着いてこられるのが、うれしくて……」

建設業を営む義父（夫の父）が、ヒラメの陸上養殖を手掛け、かねてより計画中の「獲れたてヒラメを料理してテーブルに出す店」をオープンしたのが2018年の7月。オープン時から、その店のホールスタッフとして働くことになった。「人との心のふれあいを大切にするという仕事が好きですから……」、やりがいもあり、精いっぱいがんばってきた。

店名は「元気海」。元気な海の意もあるが、「元気かい？」のエールの意のほうが大きい。腕の立つ若き料理人も加わり、井に、ラーメンに、もちろん刺身に、と新鮮なヒラメが名品に仕立てられる。その味は、姫路や岡山からこの海へやってくるサーファーたちに大人気である。もちろん、由美子さんの得意分野であるお年寄りも多く集い、うまい、うまい、とまさに元気の輪だ。

「正直なところ、こんなに皆さんがヒラメを愛しているとは思いませんでした。あらためてすごい魚だなあって」
ガラス戸を通して、陽をたっぷり受けた海が光っている。

海の駅とまり 元気海
戸羽由美子



ゆ
う
ゆ
う、

ゆ
り

は
ま